【参考資料5】尾上委員提供資料

（天王寺・阿倍野地区）の重要な課題

１　乗り換え経路、地下街、デッキ等の垂直移動経路の案内表示がわかりにくい

　①（例　乗り換え経路）JR中央改札から谷町筋（公園口からエレベーターまで）

〇天王寺駅中央改札コンコースから駅構内を公園口から出て、地下2階の改札口まで降りる必要があるが、まず、公園口から見て、エレベータの位置がわからない。

写真：JR天王寺駅公園口出口を出たところからみた地下へ降りる階段方向の景色の様子　公園口から出ると、地下に降りると「あべちか」であることはわかるが、エレベーターの手掛かりはまったくない

写真：地下に降りる階段入り口付近の様子　階段まで近づいたが、エレベーターはわからない。エレベーター方向は、柵の向こう側なのだが、柵があるために、通れないと思ってしまう。

写真：地下へ降りるエレベーターの写真。柵の向こう側の商店街の角にあるエレベーターは地味な茶色で遠目からは全く目立たない。

（エレベーターからあべちかB1へ）

エレベーターを降りると、あべちかのB1に着く。メトロ谷町線の改札がB2であって、エレベーターを乗り換える必要がある。改札がB2であることの情報とエレベーターの位置がわからない。

図：あべちか（Ｂ１）の構内図。地上からＢ１へ降りたエレベーターから、メトロ改札口（Ｂ２）へ行くエレベーターの経路がＵターンしないといけない経路でわかりにくいことを表している。

写真：地上からＢ１へ降りたエレベーター付近の様子。EVを降りると広場に出るが、改札へのEVの案内表示がない。

写真：EVを降りて正面の柱にもＢ２へ行くEVの案内がない。

写真：Ｂ２へ降りるＥＶがある付近の大きな通路の写真。あべちか通路を歩き、EVに近づくと、やっと手製の案内表示が見えた。

（地上から乗るEVによって、「B2直行」と、「B1でB2行きに乗り換え」の2種類があり、わかりにくい）

写真：てんしばのエレベーター入り口の様子。んしばのエレベーターに乗ると、B2まで行ける。

②阿倍野橋デッキ、地下通路、地上をつなぐ垂直移動の円滑化が重要

エレベーターの案内表示がわかりにくい（小さい、位置が見にくい、色使いなど）

（例）御堂筋西改札横のEV（地下→１Fコンコース→２Fデッキ）の地下の入り口

写真：御堂筋改札から出て、広場を望む写真。右手にＪＲ南口から１Ｆコンコースに向かう大きな階段があり、その隅に小さなエレベーター表示がある。御堂筋西口改札からエレベーター表示がわからない。エレベーターマークが天井付近に小さくあるが、気が付かない。

写真：地下エレベーターを通路の真正面からみた写真。手前の天井付近に小さくエレベーターの表示がある。エレベーターは階段横に奥まっていてわかりにくい。

写真：天井付近のエレベーター案内の表示を拡大したもの。

御堂筋西改札横のEV　　（地下→１Fコンコース→２Fデッキ）　１F　JR南口のEV入り口

写真：ＪＲ南口の階段とその横に奥まってわずかに見えるエレベーターの写真

写真：エレベーターを近づいて撮った写真　階段横に奥まっていて、エレベーターがわかりにくい

御堂筋西改札横のEV　　（地下→１Fコンコース→２Fデッキ）　２FデッキのEV入り口

写真：２Ｆデッキ上から、ＪＲ南口方向を映した写真　正面が階段で、右の隅にエレベーターがある

写真：エレベーターに近づいて撮った写真　柱の陰になって、エレベーターがわかりにくい

（例）ハルカス展望タワー横EV（地下→地上→２Fデッキ）地下の入り口

写真：地下エレベーターの正面からの写真

エレベーターであることがわかりにくいデザイン、色彩がくすんだ灰色で周囲に溶け込んでいる。壁と同化した入り口のデザイン。灰色の壁に白っぽい文字。

ハルカス展望タワー横EV（地下→地上→２Fデッキ）地上　近鉄ハルカスの入り口付近

写真：地上エレベーターの写真

エレベーターの存在がわからない。奥まっている。色がグレーで周囲に溶け込んでいる。

２　地下街の案内表示が不十分

（例）地下街の地図にバリアフリールート、エレベーター表示がない

写真：地図の案内板を見ている男性の写真

写真：地図のアップの写真

バリアフリーマップの表示が必要。地下街の範囲、エレベーター、車いすトイレ、デッキ、バリアフリールートの表示が必要。

（例）地下街からルシアス・アポロビルへの経路がわかりにくい

写真：地下の大きな通りから、アポロ・ルシアスビル方向へ続く通路の写真（右側の階段から多くの人が行き来している。中央は大きな柱。左の隅にスロープあり）

ルシアス・アポロビル方向のスロープ入り口がわかりにくい

写真：スロープを上がりきったときに正面に見える風景。左が一般通路（点字ブロックは左に誘導されている）、正面に柱と塀（塀に大きな左を示す矢印がある）、その塀の右の隅にスロープがある。

スロープを上げりきると、次のスロープへ。案内表示および人の流れは左だが、スロープは右の陰。

写真：スロープをアップで撮った写真

写真：アポロビルの入り口が階段である写真、アポロビルの看板の下に紙が貼ってある。

写真：張り紙のアップの写真（車いすご利用の方へ　きんえいアポロビル・ルシアスビルにお越しの方は下記ルートにて入館ください。アポロビルとルシアスビルの図に経路を示している）

写真：アポロビル付近の通路の頭上の案内看板の写真

案内表示は天井付近で、照明も切れていることが多く、車いすからはわかりにくかった

3　デッキを使ったバリアフリー移動経路のバリアフリー化

(1)　デッキへつながるエレベーター整備の必要

エコーアクロスビルの運用時間は終電まで保障されていない。迂回するには相当遠回りになるので、デッキからてんしば方向へのエレベーターの整備が必要。

写真：ビルの正面入り口の写真（連絡ＥＶがあることの表示はない、テナントの一覧があるだけ）

写真：エレベータボタン付近の張り紙（アニメイト　営業時間１１時　営業時間外は入れません　エレベーターも止まりません）

１Ｆ入り口ではデッキにつながるエレベーターがあることもわからない

写真：３Ｆデッキ通路からみたエレベーターがあるビルの入り口付近

(2)　デッキ上の案内表示が不十分

写真：デッキの中のにある地図の写真

デッキ中央の地図にバリアフリー情報を表示してほしい（エレベーターの配置、周囲のバリアフリー経路にどう接続しているか）

写真：デッキの柱に貼っている張り紙の写真

写真：張り紙をアップした写真（あべの歩道橋接続エレベーターの位置図）

エレベーターの配置図は、手書きの紙が柱に貼られているだけだった。（ただし、地図は見る側の向きになっていないのが残念です）デッキの上と、地上のＥＶ入り口の両方に、ＥＶ配置図が必要（ＥＶの配置、ＥＶの運用時間（時間外の迂回経路））。

4　生活関連施設、生活関連施設への経路設定が必要

天王寺年金事務所の道路を挟んで向かい側の年金相談センターへのバリアフリー経路が必要ではないか

写真：年金相談センターが入居するビルの全景４階建てのビルの２階のまど前面に年金相談センターであることが表示されている

写真：年金相談センターの入り口に車いす利用者が入り口の段差を指差ししている

年金相談センターの入り口が１５cm以上の段差となっている

5 視覚障害者者関係

〇駅構内、券売機の誘導位置が不適切

〇ホームの照明が暗いので、弱視者には安全でない

〇点字ブロックが目立たない色、連続していない

〇道路の点字ブロックの損壊箇所がある

図：パワーポイントの画像（内容　点字ブロックで移動（キューズモールから近鉄阿倍野橋駅）近鉄券売機に視覚障害者が立っている写真、券売機の間に誘導、点字ブロックで誘導されていたのは、駅名（料金）一覧、一覧表の写真、券売機前になぜ案内しないのか？　券売機・料金表の配置を伝える音声案内がほしい）

図：パワーポイントの画像（近鉄阿倍野駅ホームの明るさ・音　暗いホームに立つ弱視の視覚障害者の写真　暗闇に飛び込む感じというコメント　安全に移動できる明るさ・ホーム柵が必要）

図：パワーポイントの画像（JR天王寺中央改札から地下鉄谷町線　点字ブロックが連続していない写真を３枚表示　点字ブロックが何度も分断・連続していない）

写真：点字ブロックがボロボロでところどころはがれている写真（JR北口から、天王寺年金事務所へ至る経路で点字ブロックが一部剥がれている）

6　歩道の段差

車道と歩道の段差は2ｃｍ標準となっているが、排水のための勾配等の事情により、意図せずに、2ｃｍを大きく超える場合が見受けられる。

車いすの場合は、２．５ｃｍ以上となると、衝撃を大きく感じ、３㎝を超えると転倒することもある。

特に、夜間は、段差の状況が確認することが困難であり、車いすの立場からはできるだけ、段差がないのがのぞましい。

図：大阪市のバリアフリーマップに段差調査をした箇所を①～⑨で場所を表示した地図（①阿倍野交差点横断歩道、②阿倍野交差点横断歩道、③阪堺あべの駅横断歩道、④アポロビル前横断歩道、⑤あべのキューズモール　あべのウォーク側、⑥大阪阿部野橋駅からフープの横断歩道、⑦近鉄南横断歩道あべのキューズモール前、⑧鉄道病院横　いせや（食堂）前　横断歩道、⑨玉造筋chocozap前）